

普段とは違う視点から見た23区、知ればもっと面白い!

クマなくさんぽ



引退した東京の玄関口

＊旧初台駅(渋谷区・新宿区)

初台駅は現在、京王新線初台駅として営業中です。初台駅は、大正3年に改正橋駅として開業し、大正8年に初台駅として改称しました。その後、2度の移設を経て現在に至っています。

初代の初台駅は、現在の初台駅南口があるビルの南側の地上にありました。駅が出来た当時は、京王新宿駅が現在の新宿三丁目駅付近にあり、そこから現在の西新宿2丁目交差点付近まで甲州街道との併用軌道でした。その先は玉川上水に沿って軌道があり、玉川上水の改正橋付近に初代の駅がありました。現在も改正橋は初台駅南口すぐ右手に確認できます。

2代目の初台駅は、現在の京王線(地下区間)にあります。初代の駅が出来てから太平洋戦争を経て、高度経済成長期を迎えた京王線は、沿線住民の急激な増加やモータリゼーションの進展とともに、運行上ネックとなっていた新宿駅付近の併用軌道を解消すべく、軌道の地下化を進めました。この時、初台駅の先までが地下化され、2代目の駅は地下駅となって昭和39年に開業しました。



初代の初台駅



玉川上水改正橋



昔の鉄道柵



現在の初台駅南口

3代目となる現在の初台駅は、昭和53年に笹塚-新宿間の輸送容量逼迫を解消するために付設された京王新線の開通とともに誕生しました。3代目の駅誕生とともに2代目の駅は役目を終え、旅客営業を終了しました。現在でも2代目の駅は、京王線新宿駅発着の電車から見る事ができ、発車から約2分20秒後に通過します。この区間は電車もスピードが出ているため、視認することは難しいですが、目を凝らしていると見る事ができます。ホームは進行方向に向かって右側に見えます。

現在は、日中で1時間当たり9本の電車が運行しています。笹塚方面の1番線ホームが地下3階、新宿方面の2番線ホームと東口改札が地下2階、中央口改札が地下1階となっています。東口改札はオペラシティ直結、中央口改札は北口と南口の地上出口につながっています。

現在も地上で確認できる初代の初台駅跡は、地上時代の軌道跡と玉川上水とともに歩道として整備されています。遺構として、ごく一部昔の鉄柵が残っていますので、探してみたいかがでしょうか。また、新宿から笹塚までの旧地上区間は地下化されていますが、多くの部分が歩道や道路として残っており、歩くことができます。涼しくなってきたこの季節、健康づくりを兼ねて京王線の歴史をたどってみてはいかがでしょうか。



初台駅
周辺MAP

初台駅周辺の休憩処

「初台商盛会ショッピングロード」

駅南口すぐにある商店街で、ランチのお店や喫茶店の他、八百屋や文具店など多くのお店が集まる商店街。11月の第2土曜日にはフリーマーケットも開催されます。



【アクセス】
京王新線初台駅南口を降りてすぐ

【HP】
<http://www.hatsudai.ne.jp/>